

# 取扱説明書

## Instruction Manual



# BelleLife 電動コーヒーミル

- このたびはBelleLifeコーヒーミルをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みの上、製品を正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、この取扱説明書と保証書を大切に保管してください。
- ご使用前に、使用説明全体を必ずお読みください。

## 家庭用

- この商品は海外では使用できません。
- 一般家庭用以外はご遠慮ください。  
事故の原因となる可能性があります。

## もくじ


• 安全上のご注意	01~04
• 各部（パーツ）の名称	05
• はじめてお使いになる前に	06
• 各パーツの取り付け方&取り出し方	07
• ディスプレイアイコン	08~09
• ご使用方法	10~11
• 使用上のヒント	11
• お手入れのしかた	12
• 保管方法	13
• 製品仕様	13
• 廃棄物の処理方法	13
• トラブルシューティング	13
• 保証とアフターサービス	14~15


## 保証書付き

この取扱説明書には保証書が付いております。ご記入ください。


# 安全上の注意


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。  
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。  
禁止

 この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。  
指示

 この表示は、注意を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。  
注意

## 警告



### ◆改造はしない。また、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターにご相談ください。



### ◆電源プラグは、交流100Vで「15A125V」の壁面コンセントに直接差し込む。(日本国内専用)

故障・発熱・火災・感電の原因になります。

### ◆定格15A以上のコンセントを単独で使用する。タコ足配線はしない。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常過熱して、発火することがあります。

### ◆異常・故障時には直ちに使用を中止し電源プラグを抜く。

発煙・発火・感電・けがの原因になります。

#### 〈異常・故障例〉

- ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・電源を入れているのに動かない
- ・電源コードに傷がついたり、通電したりしなかったりする
- ・本体が変形したり、異常に熱くなったりする
- ・こげ臭い・発煙している

### ◆電源プラグをなめない。

乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意すること。感電やけがの原因になります。

### ◆電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

# 安全上の注意

- ◆動作していない事を確認してから電源プラグを抜き差しする。  
感電・ショート・火災・発火の原因になります。
- ◆変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。  
火災・感電、けがの原因となります。



電源プラグ  
を抜く

- ◆電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。  
感電・ショート・発火することがあります。
- ◆使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。  
けが、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



濡れ手禁止

- ◆濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。  
感電・けがをすることがあります。



水濡れ禁止

- ◆本体を水につけたり、水をかけたり、洗い流したりしない。また湿気が多い場所、水が掛かる場所、水場で使用しない。  
感電・ショート・故障のおそれがあります。



禁止

- ◆電源コードは破損したまま使用しない。電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、熱器具に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- ◆電源プラグにピン等の金属片やゴミを付着させない。  
感電・ショート・火災・発火の原因になります。
- ◆電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取る。  
火災の原因になります。
- ◆電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。  
断線・故障・感電・ショート・火災・発火の原因になります。
- ◆ねじれが戻らなくなった電源コードは使わない。  
感電・ショートの原因になります。
- ◆子供など、取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない。  
感電・けがをすることおそれがあります。

## 安全上の注意



禁止

- ◆長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。

火災・感電・やけど・ショートのおそれがあります。

- ・電源コードがねじれて戻らなくなった
- ・電源コードの根元部分に変形・傷んでいる
- ・コンセントの差し込みがゆるい

- ◆この取扱説明書に記載のない目的・方法で使用しない。

けが・事故の原因になります。

- ◆専用のホッパーフタ、ホッパー、ミル、コンテナカバー、コンテナは用途以外で使用しない。

けが・故障の原因になります。

## ⚠ 注意



電源プラグ  
を抜く

- ◆本体のお手入れは、必ず電源プラグを抜いてから行う。

感電・けがの原因になります。



必ず行う

- ◆連続使用時間は10分間以内にする。連続作動する場合でも、使用時間は合計10分間以内にする。

10分間を超えて使用すると、モーターが過熱し、故障・発煙の原因になります。次の使用までに10分以上の十分な冷却時間をとってください。

- ◆使用中に本体が一時停止したり、異常に熱くなったり、異臭がした場合は使用を中止し、本体を30分以上休ませる。

30分以上休ませた後、本体が動作しない場合はお買い上げのショップにご相談ください。



禁止

- ◆本体を移動するときは、電源プラグを抜いて本体を持って移動する。

転倒・破損・故障の原因になります。

- ◆本体にふきんなどをかぶせた状態で使用しない。

故障の原因になります。

- ◆平らな場所に設置する。カーペット・座布団・敷物など転倒の可能性のある不安定な場所に設置しない。

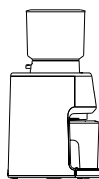
けが・転倒・故障の原因になります。



禁止

- ◆物を載せない。落下しやすい場所に設置しない。  
発熱・発火・感電・けがの原因になります。
- ◆使用中にお子様やペットを側に近づけない。  
けが・転倒・故障の原因になります。
- ◆室内で使用する。直射日光・雨が当たる場所に置かない、使用しない。  
漏電・故障の原因になります。
- ◆屋外で使用しない。  
故障の原因になります。
- ◆ストーブやガスコンロなど熱源のそばや、引火性ガスのある場所で使わない。  
発火・火災・爆発の原因、プラスチック部分が熱で破損するおそれがあります。
- ◆IHクッキングヒーターの上では使わない。  
故障の原因になります。
- ◆倒したり落としたり、ぶつけるなど本体に強い衝撃を与えない。  
故障の原因になります。
- ◆ホッパーにコーヒー豆以外のものは入れない。  
故障の原因になります。
- ◆ミル受け部のお手入れは、付属のクリーニングブラシを使用する。  
けが・故障の原因になります。
- ◆電子レンジや食器乾燥機、食器洗い乾燥機は使用しない。  
変形・故障の原因になります
- ◆金属製・ナイロン製のたわし・磨き粉・ベンジン・シンナー・漂白剤などを使わない。  
本製品に傷がつくおそれがあります。
- ◆本製品は家庭用なので、業務用として使わない。  
故障の原因になります。

## コーヒー豆ホッパーの使用上のご注意



- ◆ご使用前に、コーヒー豆ホッパーに異物がないか必ず確認してください。
- ◆使用時は必ずホッパーの蓋を取り付けた状態にしてください。
- ◆本製品は焙煎したコーヒー豆専用です。コーヒー豆以外のもの（例えば、硬い種、ハーブ、ナッツなど）を挽くために使用しないでください。マシンを損傷する恐れがあります。
- ◆コーヒー粉は、最大で「MAX」のラインまで入れてください。

# 各部（パーツ）の名称

## ホッパー蓋

豆を挽く時は、必ずフタをしてください。  
フタをしないと、豆の酸化を遅らせます。



## ホッパー（豆入れ）

ローストした豆を入れます。容量は約350g。

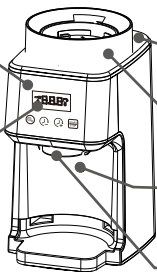
## ミル（コニカル刃）

コニカル式で、挽いたコーヒー粉末はサイズのばらつきが出にくいです。



## タッチパネル

P8までご参照ください。



## 本体

## 粒度調節目盛

極細挽きから粗挽きまで、51段階の調節ができます。

## LED ディスプレイ

詳しくはP8までご参照ください。

## エスプレッソモード用スタート/ストップボタン

詳しくはP8までご参照ください。

## 粉出し口

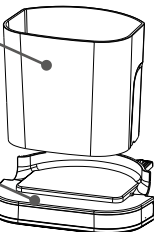
## コンテナカバー

取り付けられていないと、動作しません。



## コンテナ

コーヒー粉受け、最大量は約150g。



## トレイ

コンテナを置きます。



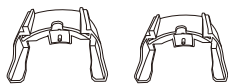
粉叩き器



付属掃除用ブラシ



53/58mmドーシングリング

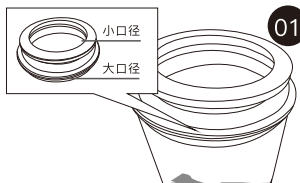


53/58mmポルタホルダー

## 注意

※ホルダーとドーシングリングはエスプレッソ抽出用です。ポルタフィルターは含まれていないので、別途に購入する必要があります。

## 粉叩き器—本体内部に残っているコーヒー粉を叩き出す用です。



01

小口径  
大口徑

大口徑のほうが、下に向き、ホッパーの中に差し込む；



02

ホッパーフタをします；



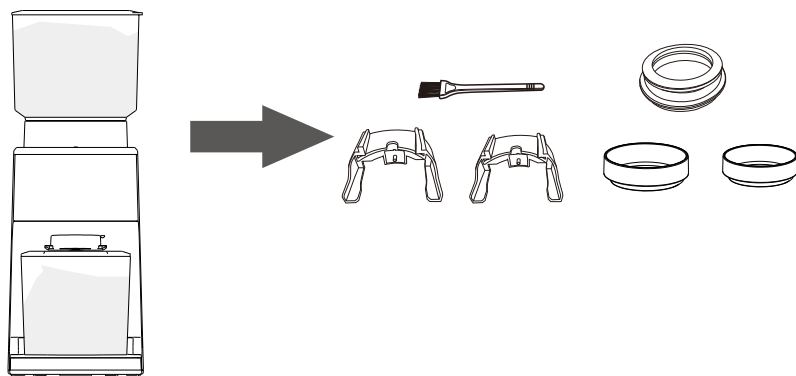
03

少し力を入れて、ホッパーフタを押ししてください。これで、本体内部に残っていたコーヒー粉を叩き出すことができます

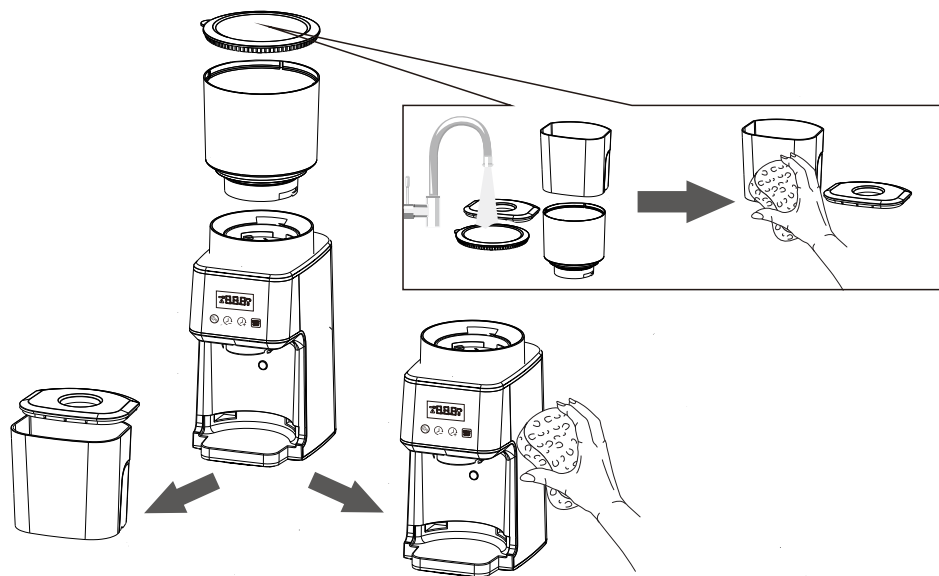
# はじめてお使いになる前に

はじめてお使いになるときや、長時間お使いにならなかったときは、本体、ミル以外の各パーツを水洗いしてからお使いください。

01 ポリ袋から各パーツを取り出してください。



02 ホッパーフタ、ホッパー、コンテナカバー、コンテナを水洗いする  
やわらかいスポンジで台所用中性洗剤を使用して洗います。



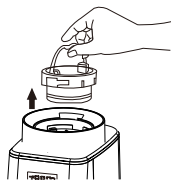
## 注意

● 洗った後は、水でよくすすぎ、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

# 各パーツの取り付け方&取り出し方

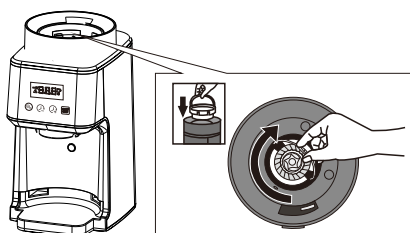
## 【ミル】の取り出し方

ハンドルをもって、反時計方向に回し、ロックをカチャッと解除して、持ち上げます。



## 【ミル】の取り付け方

- 01 ハンドルをもって、ミルをミル受け部に差し込む。
- 02 時計方向に、止まるまでしっかりと回し固定する。

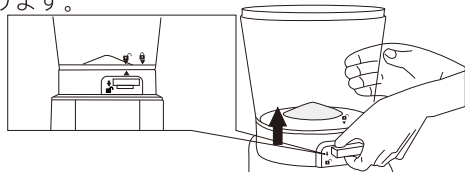


## 【ホッパー】の取り出し方

- 01 電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



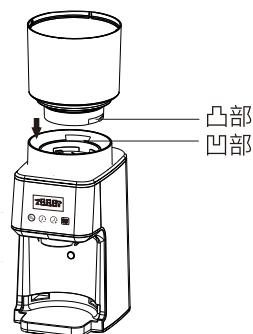
- 02 本体後ろに、下記図のようなボタンがあります。



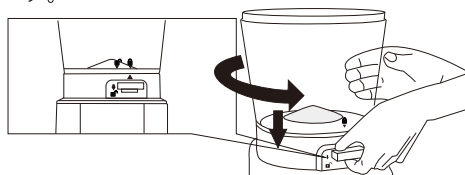
このボタンを押して、ホッパーを反時計方向に回し、ロック解除マーク $\square$ と矢印 $\blacktriangle$ が合うと、ロックが解除され、ホッパーが本体から取れます。

## 【ホッパー】の取り付け方

- 01 ホッパーの凹部を本体の凸部に合わせ、差し込む。



- 02 本体後ろに、下記図のようなボタンがあります。

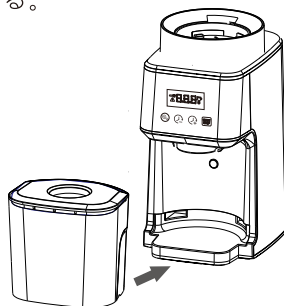


このボタンを押して、ホッパーをもって時計方向に、止まるまでしっかりと回し固定する。

(ロックマーク $\square$ と矢印 $\blacktriangle$ が合う)

## 【コンテナ】の取り付け方









コンテナにコンテナカバーでフタをし、本体にセットする。





# ディスプレイアイコン





	設定ボタン
 	DOWN/UPボタン このボタンを押すと、杯数/時間を調節することができます。 「-」：減少 「+」：増加
	スタート/ストップボタン
	<b>エスプレッソアイコン</b> エスプレッソホルダーを利用して、コーヒー豆を挽いた際にのみ表示されます。
	<b>カップアイコン</b> カップアイコンの表示は、挽き杯数を設定する際にのみ表示されます。
	設定した挽き時間、または杯数を表示します。
	「エラー」アイコン P13までご参照ください。


# ディスプレイアイコン


## A、コンテナを利用して、コーヒー豆を挽いた時:

このモードで、ディスプレイの左上の  アイコンが表示されません。


01 初期設定の挽き杯数は1杯です。



 ボタンを1回短押しごとに、最少1杯→2杯→3杯・・・→最大12杯まで、1杯刻みで挽き杯数を設定します。 ボタンを1回短押しごとに、その逆です。

02 挽き杯数を設定した後、設定ボタン  を長押しすと、1杯の挽き時間モードに切り替えます。1杯ごとに、挽き時間が0.1s刻みで、最少3s→3.1s→3.2s・・・→最大5sまで設定できます(初期設定は4sです)。


設定できた後、設定ボタン  を短押しすると、このモードを終了します。



※停電記憶機能付きで、電源がOFFにしても、停電になる直前の設定値を記憶しています。

03 設定ボタン  を2回押しすると、杯数設定モードから時間設定モードに切り替えます。初期設定の時間は10秒で、調節可能な時間範囲は1S-60Sです。

1s~15sの場合:	 ボタンを1回押しごとに、0.1s刻みで1s~15sまで設定できます。
16s~60sの場合:	 ボタンを1回短押しごとに、1s刻みで16s~60sまで設定できます。 設定できた後、「start/stop」ボタンを押して、豆を挽き始めます。

## B、エスプレッソホルダーを利用して、コーヒー豆を挽いた時:

01 エスプレッソホルダーをご利用する場合、操作部の設定ボタン  が表示されません。

02 エスプレッソホルダーを本体にセットして、初期設定の挽き時間は8sです。  ボタンを1回押しごとに、0.1s刻みで5s~20sまで設定できます。

03 エスプレッソホルダーをご利用する際、挽き杯数を設定することができません。よろしくご了承ください。

### 設定後、マシンを動作させる2つの方法:

- 1、操作部の「start/stop」ボタンを押して、豆を挽き始めます;
- 2、力を入れて、ホルダーを奥まで押し込んで、「エスプレッソモードスタート/ストップ」ボタンをオンにして、豆を挽き始めます;

### 途中で停止させたい場合:

- 1、操作部の「start/stop」ボタンを押す;
  - 2、力を入れて、ホルダーを奥まで押し込んで、「エスプレッソモードスタート/ストップ」ボタンをオフにする;
- これで、運転が停止されます。

# ご使用方法

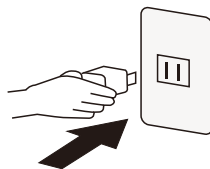
- 01 本体を平らなところに置き、ホッパーとコンテナを取り付ける

## 注意

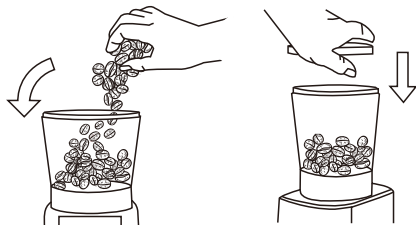
※ホッパーが本体にしっかりと装着されていないと、作動しませんので、ご注意ください。



- 03 電源プラグを電源コンセントに差し込む

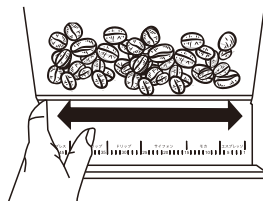


- 02 ホッパーにコーヒー豆を適量入れ、ホッパーフタをする



ホッパーに入れられるコーヒー豆の最大量は約350gです。

- 04 挽きたい豆の量（杯数）とお好みの挽き具合を設定する








## ●粒度の調節

BelleLife電動コーヒーミルが51段階の粒度が調節可能で、極細挽きから粗挽きまで調節できます。

粒度調節するには、ホッパーを回すとカチカチと音がします。粒度調節目盛りを確認しながらホッパーを左右に回してください。目盛りの数字が大きければ大きいほど挽きが粗くなります。

※運転中に粒度を調節しないでください。故障の原因になります。

## 粒度調節の目安

コーヒーメーカーの種類	エスプレッソ	モカ	サイフォン	ドリップ	ハンドドリップ	フレンチプレス
						
挽き目	細挽き	微細挽き	普通	微粗挽き	中粗挽き	粗挽き
段階	1-7	8-15	16-26	27-34	35-43	44-51

# ご使用方法

- 05 スタートボタンを押す  
スタートボタンを押し、豆を挽き始めます。  
設定時間が終わると、自動的に止まります。



## 注意

※途中で挽くのを止めたいときは、ストップボタンを押してください。  
※決してコンテナを溢れさせないでください。  
粉がMAX（最大量）マークに達したらすぐにストップボタンを押して、コンテナを空けてください。

- 06 豆を挽き終わったら、コンテナを本体から取り外す  
本体を軽くたたきコンテナ内にコーヒー粉を落としてから、コンテナを本体から引き出してください。



## 注意

※静電などでコーヒー粉が本体に付着したりする場合があります。そのとき、付属される粉叩き器を使用して、残ったコーヒー粉を除去することができます。  
※再度使用するときには、必ず10分以上本体を休ませてから使用してください。

## BelleLife電動コーヒーミルの安全機能について

### 小石混入時安全装置

高品質なコーヒー豆でもごく少量の小石などが混ざることがあり、製品の故障原因となります。小石が入ると大きな音がたつので、直ちにストップボタンを押して、電源を抜いてください。

### 過熱防止機能

数分以上の連続運転などにより負荷がかかって過熱した場合、一時的に使用できなくなり、モーターの破損を防ぎます。機器が完全に冷めてからスタートボタンを押せば再開できます。

## 使用上のヒント

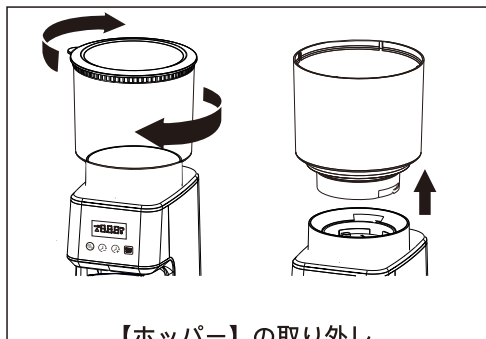
- 挽き立ての豆を使うことで、より味わい深いコーヒーを楽しんでいただけます。
- コーヒーの風味や濃さの好みは、人によってさまざまです。豆の種類を変えたり、コーヒーの分量や粒度を変えたりすることで、お好みのコーヒーをお楽しみください。
- できれば焙煎日記記載のある、新鮮なコーヒー豆をご使用ください。
- コーヒー豆の賞味期限は、焙煎日より5～20日です。コーヒー豆は冷暗所にて保管してください。真空パック保存をお勧めします。
- 常に新鮮なコーヒー豆をご使用いただくために、豆は少量ずつお買い求めください。
- コーヒー豆は挽いてすぐ風味や香りを失います。おいしいコーヒーを入れるには、直前に豆を挽くのがポイントです。
- ホッパーに豆を入れっぱなしにせず、可能な限り真空パック保存することをお勧めします。
- 長時間本製品をご使用にならない場合、ホッパーの豆を空け、本体内部に残っている豆が排出されるまで挽いてください。
- ホッパー・コンテナ・ミルは定期的にお手入れしてください。

# お手入れのしかた

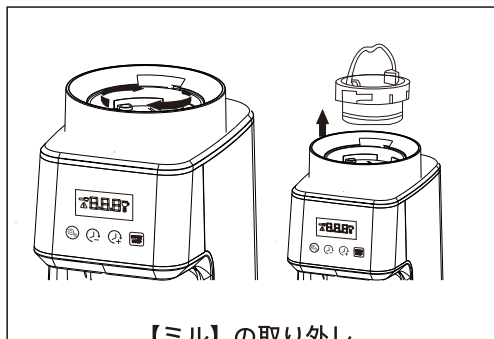
お手入れは必ず、電源プラグを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。

## ●【ミル】 【ホッパー】 【ホッパーフタ】 【コンテナ】 【コンテナカバー】のお手入れ

- ・「各パーツを取り付ける」（P7）の逆の順で、【ミル】 【ホッパー】 【コンテナ】を取り外します。
- ・ホッパーを本体から外す時は、必ず豆を出して空にしてください。



【ホッパー】の取り外し



【ミル】の取り外し



【ホッパー】の取り外し

やわらかいスポンジで台所用中性洗剤を使用して洗います。洗った後は水でよくすすぎ、乾いた布で水分を抜き取り、十分に乾燥させてください。



注意

◆ 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使用しない。

◆ 【ミル】および【ミル受け部】は水洗いしない。ミルの刃は水につけると、サビやすくなり、豆を挽く際、切れ味が悪くなる原因になります。

## ●【ミル受け部】、【粉出し口】のお手入れ

付属専用掃除ブラシを使用して、コーヒー粉を取り除いてください。

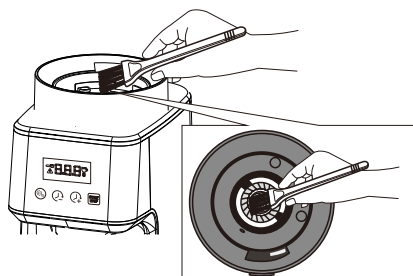
## ●【本体】のお手入れ

・本体は水洗いできません。絶対に水をかけたり、水に浸けたりしないでください。

感電や故障の原因になります。

・乾いた布で、【本体】を拭いてください。

・シンナー、ベンジン、ベンゾール、除光液、ミガキ粉、たわしなどを使用すると、変形・変色・変質したり、表面に傷がついたり破損の原因となりますのでおやめください。



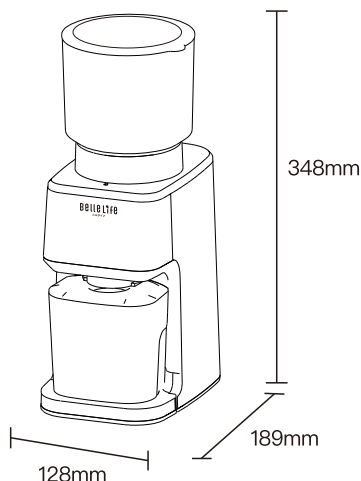
# 保管方法

- 本製品を長時間使用しない場合、本体外側の汚れを完全に拭き取ってください。また、水分が残らないようにしっかりと拭き取ってください。
- 本製品を袋に入れて元箱に保管してください。直射日光、高温、湿気、冷暗所ではない場所は避けてください。
- 子供や幼児の手の届かない場所に保管してください。

# 廃棄物の処理方法

- 廃棄物の処理には、都市ゴミ処理規則に従って処理してください。

# 製品仕様



製品名	BelleLife電動コーヒーミル
型番	BD-CG018
電源	AC100V~50/60Hz
消費電力	165W
ホッパー容量	350g
コンテナ容量	150g
質量	2.1kg
外観寸法	128*189*348mm
ケーブル長	1m
粒度調節	51段階粒度調節可能
セット内容	本体、掃除用ブラシ、粉叩き器、53/58mmホルダー、53/58mmドーシングリング、電源コード、取扱説明書（保証書付き）
生産国	中国

# トラブルシューティング

エラーコード	考えられる原因	対応策
E1+	・ホッパーが取り付けられていない ・ホッパーがきちんとロックされていない	・使用の説明を確認し、ホッパーを取り付ける ・いったんホッパーを外して取り付け直す
	PTCモーターが過熱している	電源を切り、製品を10分ほど冷却させてから、使用再開してください
E2+	連続運転などにより、過負荷保護になった	電源を切り、製品を10分ほど冷却させてから、使用再開してください

## アフターサービス

- 1、保証書の内容のご確認と保管のお願い；
- 2、保証期間はお買い上げ日より1年間；  
購入日から1年以内に規格内の正常な使用状態で故障した場合、無償修理&交換をいたします。  
注文番号のご提供が必要です。製品本体の修理または同等品の交換に限らせていただきます。  
中古品、個人転売品、誤操作による破損などは、保証対象外となります。よろしくご了承ください。

カスタマーサポートセンター  
bellelife@godone.co.jp

受付時間： 平日 10:00-12:00  
                 (土・日・祝日除く) 13:00-17:00

※お問い合わせの際は、製品名・品番・注文番号をご提供の上、ご連絡ください。  
休日でも24時間以内に返信させていただきます。

# BelleLife

ベルライフ

## 製品保証書

購入日から1年以内に規格内の正常な使用状態で故障した場合、無償修理 & 交換をいたします。

注文日が判る注文番号の提示が必要です。

製品本体の修理または同等品の交換に限らせていただきます。中古品、個人転売品、誤操作による破損は、保証対象外となります。

「注文番号」メモ欄:

### 果動株式会社

BelleLife商品部

〒210-0001神奈川県川崎市川崎区本町2-11-24グレイス川崎102室